

2016 クラブマンモトクロス第3戦

順位	(ヒート)	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■ GP クラス総合 (入賞～総合5位 / フルポイント)						
1	1/1	130	伊田 井佐夫 (04/10)	Team KAMIKAZE	H-CRF450R	25/25
2	2/2	8	関本 慶太 (04/10)	レーシングチーム鷹	Y-YZ250F	22/22
3	4/3	61	望月 丈之助 (04/10)	パシフィック・シグ with ビュアテック	K-KX125	18/20
4	3/4	68	中江 利男 (04/10)	MX BRAVES	K-KX250F	20/18
5	5/--	36	森田 雷二郎 (04/10)	Witch Craft	Y-YZ250	16/--

順位	(ヒート)	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■ SE クラス総合 (入賞～総合6位 / フルポイント)						
1	1/1	634	大内 健八	城北ライダーズ	H-CRF450R	25/25
2	4/2	511	須田 謙蔵	I.R.T.	Y-YZ250F	18/22
3	2/6	177	新毛 聖一	LynxTrick	K-KX450F	22/15
4	3/5	161	本間 誠一	埼玉スポーツライダー	Y-YZ250F	20/16
5	6/3	7	中根 健	城北ライダーズ	S-RMZ250	15/20
6	5/4	625	宮本 英治	TEAM-M-1-RACING	Y-YZ250F	16/18
7	7/8	67	猿渡 良彦	パシフィック・シグ with ビュアテック	K-KX450F	14/13
8	8/9	87	PAULO S. ARAUJO	MX BRAVES	K-KX450F	13/12
9	9/10	6	池田 均	オヤジライダーズ	H-CRF250R	12/11
10	10/11	32	山崎 光明	I.R.T.	Y-YZ125	11/10
11	--/7	51	久保 享	城北ライダーズ	S-RMZ250	--/14

順位	(ヒート)	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■ SE150 クラス総合 (入賞～総合6位 / フルポイント)						
1	1/1	17	手島 龍祐 (04/10)	Susie Digits with No Limits	HQ-TC85	25/25
2	2/2	634	大内 健八	城北ライダーズ	H-CRF150R	22/22
3	3/5	329	加藤 貴理	サイクルロード イトー-RT	H-CRF150R	20/16
4	6/3	1	藤田 康高	東京オートレジャー	S-RM85	15/20
5	7/4	22	安孫子 賢二	てびち	H-CRF150R	14/18
6	5/6	2	飯田 益巳	隼 ROOST	H-CRF150R	16/15
7	8/7	13	宮本 淑美	TEAM-M-1-RACING	Y-YZ85	13/14
8	4/14	3	牧野 篤	レーシングチーム鷹	Y-YZ85	18/7
9	9/9	100	山崎 進喜	青梅J&M C	H-CRF150R	12/12
10	11/8	32	山崎 光明	I.R.T.	Y-YZ85	10/13
11	10/11	36	樋上 克之	隼 ROOST	H-CRF150R	11/10
12	14/10	14	加藤 木桂	TEAM-M-1-RACING	H-CRF150R	7/11
13	12/12	37	小泉 俊一郎	てびち	H-CRF150R	9/9
14	13/13	76	佐藤 真樹	MOTOR HOUSE R・D	H-CRF150R	8/8

※ GP/SE/SE150 は第1ヒート・第2ヒートとも25点法でフルポイント計上

< RACE REPORT >

東京周辺では満開の桜も終盤となり、チラホラと葉桜が顔を出す季節の中、小江戸・川越の入間川河川敷に位置するモトクロスヴィレッジでクラブマンモトクロス第3戦を開催。前日の練習日はバイクも倒れそうになるほどの強風でしたが、大会当日は朝から穏やかに晴れ、幸先の良いスタートとなりました。

そしてこのコースは連盟では初開催であり、幾つかの不安要素を抱えてのレースとなりましたが、その不安も消し飛ばす程たくさんの出走台数で大いに賑わいました。特にMCF AJに参加したことのない現地ライダー招致クラス＝LoXの当日エントリーが多く集まり、当初混走を予定していたところを単独レースになるなど、MCモトクロスの明るい未来を垣間見ることができました。

さらに街乗り空冷単気筒車両をオフロード向けにモディファイした車両によるコラボ企画「ストリートスクランブル」を併催し、MX初心者でも楽しめるモトビならでのクラスも登場しました。

さてレースの方は、2ヒート制のクラスではGPクラス#130 伊田 井佐夫選手 (Team KAMIKAZE) が両ヒートを制して総合優勝。そしてSEクラスでも#634 大内 健八選手 (城北ライダーズ) が両ヒートを制し総合優勝。SE150クラスでは#17 手島 龍祐選手 (Susie Digits

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■ EJ450(EJ-I) クラス (入賞フルポイント～4位 / 以下ハーフポイント)					
1	40	高橋 実	小田原ルート1	K-KX450F	25
2	72	田村 博文	DMR motor sports	H-CRF450R	22
3	69	竹ノ内 和豊	Team YAM	H-CR125R	20
4	46	工藤 厚	PRECIOUS.FRT	H-CRF450R	18
5	115	西田 昌弘	LynxTrick	S-RMZ250	8
6	5	山下 茂行	Team YAM	H-CRF250R	7.5
7	59	井上 靖雄	小田原ルート1	Y-YZ450F	7
8	2	渡辺 訓	MRC	Y-YZF250F	6.5
9	74	三田 晋	MHPレーシング	S-RMZ250	6
10	04	小山 友一	TEAM MX JAPAN	H-CRF250R	5.5
11	10	榎戸 栄一	オヤジライダーズ	Y-YZ250F	5
12	117	遠藤 恭史	ジュニアライダーズ-II	K-KX250F	4.5
13	52	山本 雄三	MHPレーシング	Y-YZ250F	4
14	37	山 英靖	野田ジュニアレーシングクラブ	Y-YZ250F	3.5

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■ EJ250(EJ-II) クラス (入賞フルポイント～5位 / 以下ハーフポイント)					
1	72	田村 博文	DMR motor sports	H-CRF450R	25
2	46	工藤 厚	PRECIOUS.FRT	H-CRF450R	22
3	69	竹ノ内 和豊	Team YAM	H-CR125R	20
4	2	渡辺 訓	MRC	Y-YZF250F	18
5	5	山下 茂行	Team YAM	H-CRF250R	16
6	07	加藤 浩介 (04/10)	富士ライダーズ	Y-YZ250F	7.5
7	115	西田 昌弘	LynxTrick	S-RMZ250	7
8	90	岩淵 郁也	パシフィック・シグ with ビュアテック	K-KX250FSE	6.5
9	41	佐々木 淳行	Moto Roman	H-CRF250F	6
10	74	三田 晋	MHPレーシング	S-RMZ250	5.5
11	52	山本 雄三	MHPレーシング	Y-YZ250F	5
12	8	海老根 勝	Heart Rocker	K-KX250F	4.5
13	37	山 英靖	野田ジュニアレーシングクラブ	Y-YZ250F	4
14	210	日當 勝彦	TEAM MX JAPAN	H-CRF250R	3.5

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■ EJ150(EJ-III) クラス (入賞フルポイント～5位 / 以下ハーフポイント)					
1	634	大内 力也	城北ライダーズ	H-CRF150R	25
2	74	中根 隼	城北ライダーズ	S-RM85	22
3	11	波戸 玲	工学院モーターサイクル部・BRC	H-CRF150R	20
4	01	斎藤 銀汰	野田ジュニアレーシングクラブ	Y-YZ85	18
5	03	須江 政美	スエロ レーシング	H-CRF150R	16
6	07	加藤 浩介 (04/10)	富士ライダーズ	Y-YZ85	7.5
7	88	水嶋 智	TEAM MX JAPAN	K-KX100	7
8	39	中野 亮	隼 ROOST	H-CRF150R	6.5
9	82	上野 靖美	TEAM MX JAPAN	H-CRF150R	6
10	75	井口 有二	TEAM MX JAPAN	H-CRF150R	5.5
11	147	高橋 淑江	MCR ガレージ-Kcoss	H-CRF150R	5
12	34	斎藤 匡彦	隼 ROOST	H-CRF150R	4.5
13	77	野口 久雄	TEAM MX JAPAN	H-CRF150R	4
14	8	小川 史朗	H-R-C	H-CRF150R	3.5
15	99	折笠 令	REAL FLAT	H-CRF150R	3
16	87	阿部 光幸	レーシングチーム鷹	Y-YZ85	2.5

with No Limits) が両ヒートを制するなど、常勝ライダーが独走するレース展開となりました。

一方1ヒート制で行ったクラスでは、EJ450の#40 高橋 実選手 (小田原ルート1) が優勝。2位に入った#72 田村 博文選手 (DMR motor sports) はEJ250でも優勝を飾る大活躍を見せました。

そして今大会はコース特性が反映されたように150ccクラスが大盛況。特にN150クラスはフルグリッドに近い台数が一斉にスタートする様は圧巻。EJ150では1位の#634 大内 力也選手 (城北ライダーズ) と2位の#74 中根 隼選手 (城北ライダーズ) による同クラブの2世ライダー同士のバトルが見ものでした。そしてもう一つの注目ポイントはハスクバーナの活躍。SE150で#17 手島 龍祐選手が、N150では#20 杉田 真綺選手 (アルファスリー) がTC85で表彰台をゲットし、その完成度の高さをアピールしていました。



GP&SE クラスのスタート直後。絶妙なスタートで#130 伊田 井佐夫選手 (Team KAMIKAZE) 両ヒート共トップで1 コーナーを駆け抜けた。



SE と SE150 にダブルエントリーした #634 大内 健八選手(城北ライダース) は、SE クラスで両ヒートを制覇した。



本日の最終レースとなった GP&SE ヒート 2。SE クラスの暫定表彰式では 1 日の疲れを吹き飛ばす勢いのシャンペンシャワーを見せた。



SE150 クラスでは 2010 年のランキングチャンピオンだった # 手島 龍祐選手は blank を感じさせない素晴らしい走りで両ヒート制覇。



EJ450 クラスでは #40 高橋 実選手 (小田原ルト1) が優勝。



EJ450 クラスで 2 位に入った #72 田村 博文選手 (DMR motor sports) は EJ250 でも優勝を飾る大活躍。



EJ150 では1位の #634 大内 力也選手（城北ライダーズ）と2位の #74 中根 隼選手（城北ライダーズ）による同クラブの2世ライダー同士のバトルが見ものでした。



今大会はコース特性が反映されたように 150cc クラスが大盛況。特に N150 クラスはフルグリッドに近い台数が一斉にスタートする様は圧巻。

まだシャンペンの開け方がギコチナイ N150 クラスの暫定表彰式。



もう一つの注目ポイントはハスクバーナの活躍。
SE150 クラスでは #17 手島 龍祐選手が TC85 で SE150 クラスを制覇。

N150 クラスでは #20 杉田 真綺選手（アルファフリー）が TC85 で表彰台をゲットし、その完成度の高さをアピールしていました。